

INFORMATION Book

中央公民館
図書室からの
お知らせです

ほん 大好き



中央公民館図書室 ☎42局7200番

今月 **新しく** 入りました。

※8月の新刊は、1日(月)からの貸出となります。

●一般の本

／希望荘 (作=宮部みゆき) / ガラバ
ゴス「上」「下」(作=相場英雄) /
10歳若返る! 話し方のレッスン (作
=魚住りえ) / 嫌われる勇氣 (作=
岸見一郎) / おひとりさまの最期 (作
=上野千鶴子)

●子どもの本

／こころのおと (作=ピーター・レイ
ノルズ) / ぞうきばやしのすもうたい
かい (作=広野多珂子) / ちいちゃん
のかげおくり (作=あまきみこ) /
図書館脱出ゲーム「上」「下」(作=
クリス・グラベンスティン) / ふし
ぎ駄菓子屋銭天堂 (作=廣嶋玲子)
／ろってちゃん (作=ディック・ブ
ルーナ)



こどものとしよしつ
からのお知らせです

8月31日(水)まで、こどものとしよしつ
前に「夏休みコーナー」を設置しています。キャン
プや昆虫など夏をテーマにした本や夏休みの
課題図書などを特集しています。ぜひ遊びに来
てください。



アイデアたまごの
そでかた

作=コビ・ヤマダ



風花帖

作=葉室 麟

広がる本だな

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。
新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。
広がる本だなでは、新たな本との出会いの場として、
毎月おすすめの本を2冊紹介します。
今月の紹介者は加留部君子さんです。

文

化十一年(一八四四年)初冬、小笠原藩小倉城下は騒然としていました。俗に「白黒騒動」と呼ばれ、白は小倉城に留まった一派(城組)、黒は黒崎宿に籠もる一派(黒組)との、藩の命運を賭けた争いです。その争

いの中で、両派からコウモリと呼ばれていた剣の達人の生き様です。天から降る穢れなき雪も地に落ちれば泥になる。されど落ちるまでの美しさは、ひとの心を慰めます。凜として信念のある言葉です。

あ

る日、いい事を思いついて、僕はいろいろ考えて悩みます。僕のアイディアを否定された時、僕は自分信じるか信じないか。世界はたったひとつのアイディアで変えられるという事、人はいつも限

り、僕はいろいろ考えて悩みます。僕のアイディアを否定された時、僕は自分信じるか信じないか。世界はたったひとつのアイディアで変えられるという事、人はいつも限りなく、おかしな事、人はいつも限らない可能性を持っていることを忘れないでください。

Dr. 楠田の

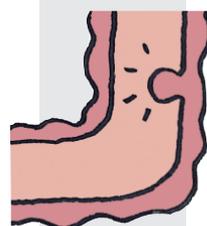
調子はいかが？

くらで病院 ☎42局1231番

くらで病院スタッフ
からの健康
アドバイスです



健康診断で「大腸ポリープ」があると言われたのですが、
どうしたらよいですか？ (55歳・男性)



大腸ポリープとは

大腸ポリープの定義は「大腸内腔に向かって限局性に隆起する病変で、組織学的には良性は問わない」とされています。つまり、大腸にできる隆起性病変（いぼのようなもの）は何でも形や大きさを問わず大腸ポリープといえます。

大腸ポリープは大きく「腫瘍」と「それ以外のポリープ」に分けられます。腫瘍以外のポリープには炎症性のもので過形成によるものなどがあります。

問題は、腫瘍に分類されるポリープですが、これにも良性の腫瘍と悪性の腫瘍があります。悪性の腫瘍はすなわち「がん」です。進行がんになると、もはやいぼのような突起ではなく、なるのでポリープと呼ばれなくなり、

良性の腫瘍は、「腺腫」と呼ばれています。大腸ポリープの80パーセントは腺腫で、特にS状結腸や直腸によくできます。そのため、一般にポリープという場合は、この腺腫を指す場合が多いようです。

腺腫が「がん」になる？
以前は「腺腫はすべて前がん状態である」、つまり、がんになる一歩手前の状態であると考えられていました。しかし現在では、がんになるのは腺腫のほんの一部であることが分かってきました。ここでポイントとなるのが腺腫の大きさです。腺腫の大きさが1センチメートルを超えた場合、急激にがんを含む可能性が高くなるのが明らかになっています。

腺腫の処置は 大きさや形で判断

以前は、腺腫はすべて前がん状態であるとみなし、発見された次第摘出するのが望ましいとされてきました。しかし現在では、がん化の危険度の高いものに絞って選択的に摘出するという考えに変わってきています。日本の大腸ポリープ診療ガイドライン（2014）では、6ミリメートル以上の大きさのものが摘出の対象とされています。ただし、5ミリメートル未満でも平坦型でくぼみのあるもの、形がいびつであるな

もし、大腸ポリープが大きく、内視鏡検査の時に摘出した場合には、摘出が必要なポリープが無くなるまでは、1年おきに内視鏡検査をするよう勧められています。

大腸ポリープが 見つかったときは

ど特殊なタイプのもものは、発見され次第摘出されます。

大腸ポリープが5ミリメートル以下の小さな病変で形もいびつなものでなければ、3年に1回程度の内視鏡検査で良いとされています。しかし、大腸内視鏡検査をしない年には便潜血検査が必要であり、もし異常があればすぐに内視鏡検査をすることが大切です。



アドバイザー

楠田慎一さん・くすだしんいち・平成8年産業医科大学医学部卒業、産業医科大学病院等での勤務を経て平成18年より門司労災病院（現九州労災病院門司メディカルセンター）勤務。平成28年4月よりくらで病院外科勤務。

大腸ポリープは、大きさや形によって「がん」を含む可能性が異なるため、必ずしも摘出が必要とは限りません。まずは、内視鏡検査で大腸ポリープの状態を確認しましょう。